

# カリキュラムの特色

## カリキュラムの特色

本学の文学部は、宗教文化、歴史、英語英米文化・国際文化、日本文化、グローバル英語という、五つの多彩な学科で構成されており、大学院には博士課程前期および後期が設置されています。まさしく本学部は文学部として全国でも有数の規模と総合性を誇る学部です。

文学部は人間およびその社会や文化をさまざまな視点から研究し、理解を深める学部です。本学文学部の各学科は創設以来、時代の要請を考慮しつつ、各学科固有の方法で特色ある教育理念の達成を志向し、かつその理念を実現するための優れた教育・研究スタッフや文献・設備などの整備充実や、高度で多彩な専門科目のカリキュラム編成などを推し進めています。さらに本学部では、学生の知識の修得のみならず品格や識見を養成し、21世紀を担う有為な人材の育成に努めています。また社会のニーズに応じて、各学科とも諸種の資格取得の可能なカリキュラム編成となっています。各学科の特色欄を熟読し、実りある学生生活を送ってほしいと思います。

## 文学部の特色(目標・特色)

### 宗教文化学科の特色

本学科は、世界各地の宗教を研究対象とし、文献学・哲学・人類学・社会学・心理学・民俗学などを、その対象にアプローチするための研究手段とします。また、その対象は現在信仰されている宗教だけに限定されません。過去の宗教もまた、歴史的文化遺産として十分に対象たりうるのです。また宗教が人類の叡知の所産である以上、これを研究することは人間そのものを研究することに他なりません。それゆえ、宗教研究を通じてより深く人間を研究することこそ、本学科の最終目標です。その意味で、宗教学は「人間学」と言えます。

本学科は、その研究対象の分類に従えば、仏教・禅・宗教に大別され、さらにインド仏教(原始仏教、上座仏教、大乘仏教)・中国仏教・日本仏教・中国禅・曹洞禅・キリスト教・神道・民俗宗教などに細別されます。このように細分化された対象と様々な研究手段を駆使して、宗教を総合的に研究することが、この学科の学生に期待されます。

さらにこのような研究に資するため、優れたスタッフを初めとして、多数の基本図書の外に、諸宗教に関する主要な文献を備え、宗教の総合的教育・研究機関に相応しい内容を具備しています。

### 歴史学科の特色

歴史学科は、人類の活動の記録としての歴史を考察しながら、歴史に対する理解と関心を深め、人間精神の洞察を試みつつ、現代社会に役立ちうる人間形成をめざしています。専門分野は、日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の5分野に分かれますが、学生はこれらの複数分野を網羅した世界史的視野を基盤として、日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史の各コースによる文献史学と、遺跡・遺構・遺物(モノ)の分析を中心とする考古学の中から特に関心の深い分野を専攻することになっています。

歴史学科で専門分野を学習するために設けられている基本コースは、1年次に日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の各概説に始まり、その上に2年次の基礎講読、3年次の専門講読、さらに3年次・4年次の基礎演習・専門演習を積み重ね、この課程を通じて進められた学習の成果を卒業論文としてまとめる、という履修コースです。世界史的な幅広い視野の育成のために、1年次の各概説は必修とし、2年次に必修の史学概論・考古学概論・古文書学(日本史コース)・考古学基礎実習(考古学コースのみ)、3年次には東西交渉史・国際関係史(ともに選択必修)・考古学専門実習(考古学コースのみ)を開講しています。さらに、専門一般科目として、様々な特殊講義・特殊研究を配置し、学生の知的興味を刺激します。

歴史学科には、各専門分野で活躍中の教員と学習・研究に必要な基本的文献・史料・専門雑誌などが揃っており、学生諸君の意欲的な学習・研究に十分応えられる環境が整っています。また、歴史学科では、専門分野の学習だけでなく、教員免許状(中学校社会一種、高校地歴・公民一種)および図書館司書、学校図書館司書教諭や博物館学芸員、2級考古調査士、社会教育主事の資格も取得することができます。

# カリキュラムの特色

## 英語英米文化学科・国際文化学科の特色

### <英語英米文化学科>

英語英米文化学科では、高い英語力を身につけること、および英米を中心とする英語圏社会の文化について理解を深めることを目標としています。1～3年の英語必修科目で基礎力を高め、英語と文化を同時に学ぶ外国人教員による科目「Culture through English」で英語圏文化の特徴・相違を英語で理解し、自らも発信する英語運用能力を涵養します。また、英語圏社会での体験学習を通して異なる価値観の人々の心情に深く共感できるメンタリティーを養います。そして2～4年の専門科目では、アメリカ文化、イギリス文化、英語圏文化、英語研究の各分野の幅広い専門的知識を身につけ、特に演習科目(ゼミ)では自ら選んだテーマについて自ら調査し、卒業論文にまとめます。このように当学科のカリキュラムは、学年を追うごとに学びの深まりを実感できるよう工夫されています。

### <国際文化学科>

国際文化学科は、現代社会の国際化によって起こる様々な問題を、「文化」という視点から客観的にとらえて対応できる「異文化適応能力」を養成することを目的とします。この異文化適応能力とは、コミュニケーションの手段としての英語力はもちろんのこと、文化の違いから起こる問題に対応できる「コミュニケーション能力」のことです。このような能力を養成するために、本学科ではTOEICを重視した授業を通して、異文化の人々とのコミュニケーションに不可欠な「英語力」を身につけ、「国際化と文化についての理論的な理解」、「欧米およびアジア地域の社会、文化、歴史についての知識と理解」を深めることができる教育を目指しています。

## 日本文化学科の特色

日本文化学科は、A(言語)、B(文学)、C(思想と芸術)、D(社会と民俗)という4領域から構成され、日本文化についての多角的な理解と研究方法の修得をめざしています。2年次には全教員が担当する「日本文化特講5」(日本文化研究法)を開講し、それぞれの教員が各領域の専門的な解説を行い、次年度におけるゼミ選択が適切にできるよう指導します。また、「日本文化特講1」(日本文化表現法)では、基本的な読解力や聴解力、さらには記述力や思考力を身に付けられるよう実践的な指導をします。3年次には各自の関心に従い、「演習」と「講読」のゼミを選択し、積極的に資料を収集し口頭発表やレポートを作成していきます。ゼミでは卒業論文のテーマを各自が見いだし、4年次の「総合演習」を経て、卒業論文を作成します。本学科のもう一つの特色として、教室外での調査や実習の多いことが挙げられます。方言や民俗・社会調査、史跡や社寺の見学、書道実技や古典芸能鑑賞など、体験的な学習機会を多数用意しています。

## グローバル英語学科の特色

グローバル英語学科の「ESP」教育では、個々の学生が英語を使う目的を明確に設定した上で英語を学習する点、つまり、実務的な各種資格の取得を目指す点が特徴的で、①一般企業や社会の諸機関で「グローバル英語」を必要とする分野、②観光・航空の分野、③通訳・翻訳の分野、④英語教育の分野に対応する目的・職業別英語を習得するようにします。カリキュラムは、英語技能の向上に特化し、資格取得を目指した実学中心に構成され、英語圏に留学しなければ習得することが難しい英語を日常的に用いることができるように学習環境を整えるとともに、さらに入学時から卒業時まで継続的に、しかも一貫して実務的な英語運用能力の演習を行います。尚、2年次には、学生全員が西オーストラリア大学へ約3週間滞在し、ホームステイをしながら大学付属の英語センターで英語学習の集中訓練を受けて、コミュニケーションな英語力を身につけるだけでなく、実際の現地の文化に触れながら生の英語コミュニケーションを体験します。

## 学年担任

3・4年次は文学部専任教員が学年担任となって学生生活全般にわたっての相談に応じています。

3年次	4年次
各ゼミ担当教員	各演習・セミナー担当教員

## 進級

**(1)進級要件**

「第3年次への進級に関する内規」(P.118参照)に基づき、2年次から3年次への進級に必要な単位数は48単位です。2年次修了時点で卒業要件科目の内48単位以上修得した者は、修得科目に関わらず3年次へ進級できます。1年次から2年次へ、3年次から4年次への進級要件はありませんので、自動的に進級します。なお、1セメスター休学した場合でも次の学年に進級します。ただし、2セメスター連続して休学した場合は、原級にとどまります。

**(2)進級時期**

進級時期は、3月(2年次秋学期)のみです。2年次春学期修了時点で進級要件を充足しても年度途中で3年次へ進級することはできません。

進級可能者は3月中旬にお知らせします。

**(3)進級不可(留年)について**

進級不可(留年)となった学生については、3月中旬に保証人宛に通知します。

## 卒業

**(1)卒業要件**

大学を卒業するためには、以下の2点を満たさなければなりません。

- ①通算して4年(8セメスター)以上在学した者(休学期間は除く)。
  - ②学則第8条に定められている所定の128単位(卒業に必要な単位数)を修得した者(詳細はP.60～89参照)。
- 注) 4年次修了時点で上記の条件を満たしていなければ、128単位以上修得していても卒業することはできません。

**(2)学位の授与**

卒業要件を充足した者は、学則第37条により学士(文学)の学位が授与されます。

**(3)卒業時期**

卒業時期は、3月または9月のいずれかです。いずれの場合も要件を充足した場合は卒業となります。

**①3月卒業**

4年次秋学期修了時点で卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。  
卒業可能者は、3月上旬に保証人宛に通知します。

**②9月卒業**

4年次春学期時点で、4年(8セメスター)以上在学し、卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。  
卒業可能者は、9月中旬に保証人宛に通知します。

**(4)卒業不可(留年)について**

卒業不可(留年)となった学生については、3月上旬に保証人宛に通知します。  
次年度以降の卒業に関する調査を行います。所定の用紙を履修登録期間までに教務課へ提出してください。

# カリキュラム概要

## 宗教文化学科(2014年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件(36単位)		1年次	2年次	3年次	4年次
	内訳	分野合計				
教養基幹科目			教養セミナーⅠ①・Ⅱ①	教養セミナーⅢ①・Ⅳ①		
	人文系	4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系	4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学Ⅰ②・Ⅱ②、地理学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系	4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
	主題系	4単位	仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目(注一)	第1外国語	6単位	英語Ⅰa①・Ⅱa①、英語Ⅰb①・Ⅱb①	英語Ⅰc①・Ⅱc①		
	第2外国語	独・中・仏・韓国語の中から2単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①			
	文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位	ドイツ文化事情②、中国文化事情②、フランス文化事情②、韓国文化事情②			
健康総合科学科目		2単位	スポーツ科学Ⅰ①・Ⅱ①			
		◎へ算入		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①		
外国語科目	エレクトティブ	◎へ算入	【英語】 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【中国語】 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【フランス語】 フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【韓国語】 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
			【英語】 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解Ⅲ①・Ⅳ①、実践英語Ⅲ①・Ⅳ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【中国語】 中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【フランス語】 フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【韓国語】 韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
海外事情科目		◎へ算入	海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。		キャリア・デザイン②		インターンシップ②	

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (76単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
専門 基礎科目	8単位	宗教学入門Ⅰ②・Ⅱ②、仏教学入門Ⅰ②・Ⅱ②、禅学入門Ⅰ②・Ⅱ②			
	4単位	地域宗教文化Ⅰ・Ⅰ②・Ⅰ-Ⅱ②、地域宗教文化Ⅱ・Ⅰ②・Ⅱ-Ⅱ②、地域宗教文化Ⅲ・Ⅰ②・Ⅲ-Ⅱ②(注5)			
4単位		宗教文化史Ⅰ②・Ⅱ②、仏教の歴史Ⅰ②・Ⅱ②		禅宗史Ⅰ②・Ⅱ②	
	4単位	宗教学英書入門Ⅰ②・Ⅱ②、仏教漢文入門Ⅰ②・Ⅱ②、パーリ語入門Ⅰ②・Ⅱ②、サンスクリット語入門Ⅰ②・Ⅱ②			
専門 基礎語学	4単位	現代社会と宗教Ⅰ②・Ⅱ②、現代社会と仏教Ⅰ②・Ⅱ②			
専門 一般科目 ⑥	64単位	基礎セミナーⅠ②(注5)	比較宗教思想Ⅰ②・Ⅱ②、仏典講読Ⅰ②・Ⅱ②、 仏教の中国的展開Ⅰ②・Ⅱ②、中国仏教の思想Ⅰ②・Ⅱ②、仏教の日本の展開Ⅰ②・Ⅱ②、 禅語録講読Ⅰ②・Ⅱ②、禅の思想Ⅰ-Ⅰ②・Ⅰ-Ⅱ②・禅の思想Ⅱ-Ⅰ②・Ⅱ-Ⅱ②、 布教の実践②、行持の実習② 坐禅の実習Ⅰ②・Ⅱ②、西洋古典の文化Ⅰ②・Ⅱ②、西洋の思想Ⅰ②・Ⅱ②、 インドの思想Ⅰ②・Ⅱ②、中国の思想Ⅰ②・Ⅱ②、日本の思想Ⅰ②・Ⅱ②、日本の仏教Ⅰ②・Ⅱ②(注3)		
			基礎セミナーⅡ②	宗教と民俗文化Ⅰ②・Ⅱ②、比較宗教史Ⅰ②・Ⅱ②、 宗教社会学Ⅰ②・Ⅱ②、宗教心理学Ⅰ②・Ⅱ②、 宗教人類学Ⅰ②・Ⅱ②、宗教教理学Ⅰ②・Ⅱ②、インド仏教の思想Ⅰ②・Ⅱ②、 日本仏教の思想Ⅰ②・Ⅱ②、 仏教美術Ⅰ②・Ⅱ②、禅と芸術Ⅰ②・Ⅱ②	
	4単位	宗教文化セミナーⅠ②・Ⅱ②、 仏教文化セミナーⅠ②・Ⅱ②、 禅文化セミナーⅠ②・Ⅱ②			
総合 セミナー	4単位	総合セミナーⅠ②・Ⅱ②			
卒業論文	4単位	卒業論文④			

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ◎ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「外国語科目(エレクトティブ)」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注4) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	---

## 卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位

- (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.10を参照してください。  
 (注2) 「人文系」「社会系」「自然系」「主題系」で修得した単位の内、必要最低単位数を超えた単位は①→③の順で算入される。  
 (注3) 「布教の実践」と「行事の実習」は原則宗内生のみ履修可能。  
 (注4) 他学部・他学科科目で修得した24単位の内、16単位までは◎に、残りの8単位は⑥にそれぞれ算入される。  
 (注5) 春学期に基礎セミナーⅠを履修する者は、秋学期開講の地域宗教文化Ⅰ-Ⅱをあわせて履修することが望ましい。

# カリキュラム概要

## 歴史学科(2013年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件(36単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	
	内訳	分野合計					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②				
教養基幹科目		④ 20単位 (注2)	教養セミナーⅠ①・Ⅱ①		教養セミナーⅢ①・Ⅳ①		
	人文系		4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系		4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系		4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
	主題系		4単位	仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目(注1)	第1外国語	6単位	英語Ⅰa①・Ⅱa①、英語Ⅰb①・Ⅱb①				
	第2外国語	独・中・仏・韓国語の中から2単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①				
	文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位	ドイツ文化事情②、中国文化事情②、フランス文化事情②、韓国文化事情②				
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ①・スポーツ科学Ⅱ①				
	◎へ算入		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①				
外国語科目	エレクトティブ	◎へ算入	<b>【英語】</b> 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① <b>【ドイツ語】</b> ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【中国語】</b> 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【フランス語】</b> フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【韓国語】</b> 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①				
			<b>【英語】</b> 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解Ⅲ①・Ⅳ①、実践英語Ⅲ①・Ⅳ① <b>【ドイツ語】</b> ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【中国語】</b> 中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【フランス語】</b> フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【韓国語】</b> 韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①				
海外事情科目	◎へ算入		海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②				
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。		キャリア・デザイン②		インターンシップ②		

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (76単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
専門 基礎科目	10単位		史学概論Ⅰ②・Ⅱ②、考古学概論②		
				東西交渉史Ⅰ②・Ⅱ②、国際関係史Ⅰ②・Ⅱ②	
専門 一般科目	16単位	日本史概説Ⅰ②・Ⅱ②、東洋史概説Ⅰ②・Ⅱ②、西洋史概説Ⅰ②・Ⅱ②、イスラム圏史概説②、考古学概説②			
	4単位	基礎講読Ⅰ・Ⅱ(各2単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の各基礎講読から2科目(4単位)を選択 (注3)			
	4単位	専門講読Ⅰ・Ⅱ(各2単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の各専門講読から2科目(4単位)を選択 (注3)			
	4単位	基礎演習(4単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の基礎演習から1科目(4単位)を選択			
	8単位	特殊講義Ⅰ・Ⅱ(各2単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学・地域史・世界史・文化財科学の各特殊講義から4科目(8単位)を選択 (注3)			
	4単位	専門演習(4単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の各専門演習から1科目(4単位)を選択			
	4単位	特殊研究Ⅰ・Ⅱ(各2単位) 日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学・地域史・世界史・文化財科学の各特殊研究から2科目(4単位)を選択 (注3)			
卒業論文	8単位	卒業論文⑧			
選択科目 (注4)	14単位 ⑧ ★日本史コース 4単位必修 ☆考古学コース 4単位必修	地理学A②・B②、地誌②、文化人類学Ⅰ②・Ⅱ②、中国文化史入門②、韓国・朝鮮文化史入門②、イスラム圏史入門Ⅰ②・Ⅱ②、組織社会学Ⅰ②・Ⅱ②			
		★古文書学Ⅰ②・Ⅱ②、日本民俗学Ⅰ②・Ⅱ②、日本仏教史Ⅰ②・Ⅱ②、日本の思想Ⅰ②・Ⅱ②、中国の思想Ⅰ②・Ⅱ②、インドの思想Ⅰ②・Ⅱ②、朝鮮史Ⅰ②、西洋の思想Ⅰ②・Ⅱ②、自然地理学Ⅰ②・Ⅱ②、美術の歴史Ⅰ②・Ⅱ②、西洋古典の文化(ラテン語)Ⅰ②・Ⅱ②、比較宗教史Ⅰ②・Ⅱ②、地域考古学Ⅰ②・Ⅱ②、☆考古学基礎実習A②・B② (注5)			
		アジア諸国史②、朝鮮史Ⅱ②、西欧文明史Ⅰ②・Ⅱ②、欧米諸国史Ⅰ②・Ⅱ②、☆考古学専門実習A②・B②、海外の考古学Ⅰ②・Ⅱ② (注5)			

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ◎ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「外国語科目(エレクトティブ)」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注6) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	---

## 卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位

- (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.10を参照してください。  
 (注2) 「人文系」「社会系」「自然系」「主題系」で修得した単位の内、必要最低単位数を超えた単位は①→②の順で算入される。  
 (注3) 基礎講読・専門講読・特殊講義・特殊研究は「Ⅰ・Ⅱ」をセットで履修してください。  
 (注4) 専門教育科目(選択科目)のうち4単位は専門基礎科目または専門一般科目の必要最低単位数を超えた単位で振替ができます。  
 (注5) ★「古文書学Ⅰ・Ⅱ」は日本史コース専攻者の必修科目ですので、同コース専攻者は必ず4単位修得してください。  
 ☆「考古学基礎実習」「考古学専門実習」は考古学コース専攻者の選択必修科目ですので、同コース専攻者は必ず2単位ずつ修得してください。  
 (注6) 他学部・他学科科目で修得した24単位の内、16単位までは◎に、残りの8単位は③にそれぞれ算入される。

# カリキュラム概要

## 英語英米文化学科(2015年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件(36単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	
	内訳	分野合計					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②				
教養基礎科目		20単位 A (注2)	教養セミナーⅠ①・Ⅱ①		教養セミナーⅢ①・Ⅳ①		
	人文系		4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系		4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学Ⅰ②・Ⅱ②、地理学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系		4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
主題科目	4単位		仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、 生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、 人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、 アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、 英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、 情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、 ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②健康の科学②				
外国語科目(注1)	第1外国語	6単位	英語Ⅰa①・Ⅱa①、英語Ⅰb①・Ⅱb①				
	第2外国語	独・中・仏・韓国語の中から2単位	英語Ⅰc①・Ⅱc①				
	文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①				
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ①・Ⅱ①				
	◎へ算入		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①、健康総合論②				
外国語科目	エレクトティブ	◎へ算入	【英語】 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【中国語】 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【フランス語】 フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【韓国語】 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①				
			【英語】 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解Ⅲ①・Ⅳ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅲa(読解)①・Ⅳa(読解)①、ドイツ語Ⅲb(表現)①・Ⅳb(表現)①、ドイツ語Ⅲc(総合)①・Ⅳc(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【中国語】 中国語Ⅲa(読解)①・Ⅳa(読解)①、中国語Ⅲb(表現)①・Ⅳb(表現)①、中国語Ⅲc(総合)①・Ⅳc(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【フランス語】 フランス語Ⅲa(読解)①・Ⅳa(読解)①、フランス語Ⅲb(表現)①・Ⅳb(表現)①、フランス語Ⅲc(総合)①・Ⅳc(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【韓国語】 韓国語Ⅲa(読解)①・Ⅳa(読解)①、韓国語Ⅲb(表現)①・Ⅳb(表現)①、韓国語Ⅲc(総合)①・Ⅳc(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①				
海外事情科目	◎へ算入		海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②				
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。		キャリア・デザイン② インターンシップ②				

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (76単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	26単位	英語英米文化入門ゼミa②・b②、Culture through English I a②・I b②、 オーラルコミュニケーションI a①・I b①、イングリッシュ&カルチャーI a①・I b①			
		Culture through English II a②・II b②、 オーラルコミュニケーションII a①・II b①、イングリッシュ&カルチャーII a①・II b①			
		Culture through English III a②・III b②、 イングリッシュ&カルチャーIII a①・III b①			
専門基礎 関連科目	4単位	TOEIC I a①・I b①、			
		TOEIC II a①・II b①、オーラルコミュニケーションIII a①・III b①、 ライティングIII a①・III b①			
	6単位	TOEIC III ①			
実用英語 I ①～IV ①					
専門基礎 関連科目	6単位	English/Culture Tour I ②			
		English/Culture Tour II ②～IV ②			
	国際関係論②、国際理解教育入門②、社会調査法②、フィールドワーク論②、アジアの思想と文化②、 比較文化論②、大衆文化論②				
4単位	英語学概論a②・b②、日英語比較a②・b②、英語の歴史a②・b②、アメリカ文学研究a②・b②、 イギリス文学研究a②・b②				
専門 専攻科目	12単位 Ⓑ	地域文化研究 I a②～IX b②			
	12単位 Ⓒ	欧米文化特講 I a②～VI b② アジア・オセアニア文化特講 I a②～II b② 英語研究特講 I a②～II b②、			
専門 演習科目	4単位	英米文化演習a②・b②			
	4単位	総合演習a②・b②			
	4単位	卒業論文④			

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ◎ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「外国語科目(エレクトティブ)」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注3) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	---

**卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位**

- (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修については、P.10を参照してください。  
 (注2) 「人文系」「社会系」「自然系」「主題系」で修得した単位の内、必要最低単位数を超えた単位は④→⑩の順で算入される。  
 (注3) 他学部・他学科で修得した24単位のうち16単位までは⑩に、残りの8単位は⑩→④の順でそれぞれ4単位を上限に算入される。

# カリキュラム概要

## 国際文化学科(2013年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
□ = 必修科目

分野	卒業要件(36単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	
	内訳	分野合計					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②				
教養基幹科目		A 20単位 (注2)	教養セミナーⅠ①・Ⅱ①	教養セミナーⅢ①・Ⅳ①			
	人文系		4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系		4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学Ⅰ②・Ⅱ②、地理学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系		4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
	主題系		4単位	仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目(注1)	第1外国語	6単位	英語Ⅰa①・Ⅱa①、英語Ⅰb①・Ⅱb①				
	第2外国語	独・中・仏・韓国語の中から2単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①				
	文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位	ドイツ文化事情②、中国文化事情②、フランス文化事情②、韓国文化事情②				
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ①・Ⅱ①				
	◎へ算入		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①				
外国語科目	エレクトティブ	◎へ算入	【英語】 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現法Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解法Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【中国語】 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【フランス語】 フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【韓国語】 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①				
			【英語】 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現法Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解法Ⅲ①・Ⅳ①、実践英語Ⅲ①・Ⅳ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【中国語】 中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【フランス語】 フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【韓国語】 韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①				
海外事情科目	◎へ算入		海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②				
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。	キャリア・デザイン②					
		インターンシップ②					

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (76単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	選択科目 12単位を含め 20単位	オーラルコミュニケーションⅠa①・Ⅰb①、イングリッシュ&カルチャーⅠa①・Ⅰb①			
		アジア・オセアニア文化入門a②・b②、国際文化入門a②・b②、英米文化入門a②・b②			
専門基礎 関連科目	12単位	オーラルコミュニケーションⅡa①・Ⅱb①、イングリッシュ&カルチャーⅡa①・Ⅱb①			
		英語学概論a②・b②			
専門基礎 関連科目	12単位	国際関係論a②・b②、国際理解教育入門②、社会調査法a②・b②、フィールドワーク論a②・b②、アジアの思想と文化a②・b②、比較文化論a②・b②、日英語比較a②・b②、英語の歴史a②・b②、アメリカ文学研究a②・b②、イギリス文学研究a②・b②、大衆文化論a②・b②、TOEICⅠa①・Ⅰb①			
		TOEICⅡa①・Ⅱb① オーラルコミュニケーションⅢa①・Ⅲb①、ライティングⅢa①・Ⅲb①			
専門 専攻科目	8単位 ⑥	地域文化研究Ⅰa～Ⅶb 各2単位			
	4単位	欧米文化特講Ⅰa②～Ⅶb②			
	4単位	アジア・オセアニア文化特講Ⅰa②～Ⅳb②			
	4単位	比較文化特講Ⅰa②～Ⅳb②			
専門 演習科目	必修を含め 20単位	英書講読a②・英書講読b②			
		英米文化演習a②・b②、国際文化演習a②・b②			
		総合演習a②・b② 卒業論文⑧			

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ◎ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「外国語科目(エレクトیف)」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注3) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	--

# 卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位

- (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.10を参照してください。  
 (注2) 「人文系」「社会系」「自然系」「主題系」で修得した単位の内、必要最低単位数を超えた単位は④→⑩の順で算入される。  
 (注3) 他学部・他学科科目で修得した24単位の内、16単位までは⑩に、残りの8単位は⑩→④の順でそれぞれ4単位を上限に算入される。

# カリキュラム概要

## 日本文化学科(2013年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
 □ = 必修科目

分野	卒業要件(36単位)		1年次	2年次	3年次	4年次	
	内訳	分野合計					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②				
教養基幹科目		A 20単位 (注2)	教養セミナーⅠ①・Ⅱ①	教養セミナーⅢ①・Ⅳ①			
	人文系		4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系		4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学Ⅰ②・Ⅱ②、地理学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系		4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
	主題系		4単位	仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目(注1)	第1外国語	6単位	英語Ⅰa①・Ⅱa①、英語Ⅰb①・Ⅱb①				
	第2外国語	独・中・仏・韓国語の中から2単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①				
	文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位	ドイツ文化事情②、中国文化事情②、フランス文化事情②、韓国文化事情②				
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ①・スポーツ科学Ⅱ①				
	◎へ算入		スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①				
外国語科目	エレクトティブ	◎へ算入	【英語】 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【中国語】 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【フランス語】 フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① 【韓国語】 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①				
			【英語】 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解Ⅲ①・Ⅳ①、実践英語Ⅲ①・Ⅳ① 【ドイツ語】 ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【中国語】 中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【フランス語】 フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① 【韓国語】 韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①				
海外事情科目	◎へ算入		海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②				
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。		キャリア・デザイン②				
			インターンシップ②				

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (76単位)	1年次	2年次	3年次	4年次	
1群	A 4単位	24 単位 ⑥	言語学Ⅰ②・Ⅱ②、日本語学Ⅰ②・Ⅱ②			
			言語と文化Ⅰ②・Ⅱ②			
	B 4単位		日本文学の歴史Ⅰ②・Ⅱ②			
			日本の古典文学Ⅰ②・Ⅱ②、日本の近代文学Ⅰ②・Ⅱ②			
C 4単位		仏教と文化Ⅰ②・Ⅱ②、美術の歴史Ⅰ②・Ⅱ②				
		日本の思想Ⅰ②・Ⅱ②、書道の歴史②、書論②				
D 4単位		現代社会学Ⅰ②・Ⅱ②、文化人類学Ⅰ②・Ⅱ②				
		日本民俗学Ⅰ②・Ⅱ②				
		フレッシュマン英会話Ⅰ①・Ⅱ①				
		上級英会話Ⅰ①・Ⅱ①				
2群	30単位◎	日本文化史Ⅰ②・Ⅱ②、書道文化ⅠⅠ①・Ⅱ①				
		日本語の音声Ⅰ②・Ⅱ②、日本語の文法Ⅰ②・Ⅱ②、日本語の表現Ⅰ②・Ⅱ②、中国の古典Ⅰ②・Ⅱ②、 仏教と芸術Ⅰ②・Ⅱ②、書道文化2Ⅰ①・Ⅱ①、日本文化特講1～5各2単位				
		日本語の教育Ⅰ②・Ⅱ②、古典文学研究Ⅰ②・Ⅱ②、近代文学研究Ⅰ②・Ⅱ②、 禅と日本文化Ⅰ②・Ⅱ②、書道文化3～5Ⅰ・Ⅱ各1単位、社会調査法Ⅰ②・ Ⅱ②、家族と社会Ⅰ②・Ⅱ②、日本文化特講6～10各2単位				
3群	4単位	22 単位		講読Ⅰ②・講読Ⅱ②		
	4単位			演習Ⅰ②・演習Ⅱ②		
	2単位			世界のなかの日本文化Ⅰ②・Ⅱ②、アジアのなかの日本文化Ⅰ②・Ⅱ②		
	4単位			総合演習Ⅰ②・Ⅱ②		
	8単位			卒業論文⑧		

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ◎ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「外国語科目(エレクトティブ)」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注3) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	---

# 卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位

- (注1) 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.10を参照してください。  
 (注2) 「人文系」「社会系」「自然系」「主題系」で修得した単位の内、必要最低単位数を超えた単位は④→⑩の順で算入される。  
 (注3) 他学部・他学科科目で修得した24単位の内、16単位までは⑩に、残りの8単位は⑧→④、4単位を上限に算入される。

# カリキュラム概要

## グローバル英語学科(2013年度以降入学生適用)

### 1 教養教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件(30単位)		1年次	2年次	3年次	4年次
	内訳	分野合計				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ②・Ⅱ②			
教養基幹科目			教養セミナーⅠ①・Ⅱ①	教養セミナーⅢ①・Ⅳ①		
	人文系	4単位	心理学Ⅰ②・Ⅱ②、哲学Ⅰ②・Ⅱ②、論理学Ⅰ②・Ⅱ②、文学Ⅰ②・Ⅱ②、美術Ⅰ②・Ⅱ②			
	社会系	4単位	法学Ⅰ②・Ⅱ②、政治学Ⅰ②・Ⅱ②、経済学Ⅰ②・Ⅱ②、社会学Ⅰ②・Ⅱ②、教育学Ⅰ②・Ⅱ②、歴史学Ⅰ②・Ⅱ②、地理学Ⅰ②・Ⅱ②			
	自然系	4単位	数学Ⅰ②・Ⅱ②、統計学Ⅰ②・Ⅱ②、物理学Ⅰ②・Ⅱ②、化学Ⅰ②・Ⅱ②、生物学Ⅰ②・Ⅱ②、情報科学Ⅰ②・Ⅱ②			
	主題系	4単位	仏教と現代社会Ⅰ②・Ⅱ②、禅と人間Ⅰ②・Ⅱ②、生命に関する諸問題Ⅰ②・Ⅱ②、人間行動の理解Ⅰ②・Ⅱ②、人間の尊厳と平等Ⅰ②・Ⅱ②、日本の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、アジアの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、英語圏の文化と社会Ⅰ②・Ⅱ②、人間と環境Ⅰ②・Ⅱ②、情報と社会Ⅰ②・Ⅱ②、産業と科学Ⅰ②・Ⅱ②、ソフトウェア概論Ⅰ②・Ⅱ②、健康の科学②			
外国語科目	独・中・仏・韓国語の中から2単位	26単位	ドイツ語Ⅰ①・Ⅱ①、中国語Ⅰ①・Ⅱ①、フランス語Ⅰ①・Ⅱ①、韓国語Ⅰ①・Ⅱ①			
文化事情	独・中・仏・韓国文化事情の中から2単位		ドイツ文化事情②、中国文化事情②、フランス文化事情②、韓国文化事情②			
外国語科目	エレクトティブ		<b>【英語】</b> 英会話Ⅰ①・Ⅱ①、メディア英語Ⅰ①・Ⅱ①、英語表現Ⅰ①・Ⅱ①、英語読解Ⅰ①・Ⅱ①、実践英語Ⅰ①・Ⅱ① <b>【ドイツ語】</b> ドイツ語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【中国語】</b> 中国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【フランス語】</b> フランス語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)① <b>【韓国語】</b> 韓国語Ⅰ(基礎)①・Ⅱ(基礎)①			
			<b>【英語】</b> 英会話Ⅲ①・Ⅳ①、メディア英語Ⅲ①・Ⅳ①、英語表現Ⅲ①・Ⅳ①、英語読解Ⅲ①・Ⅳ①、実践英語Ⅲ①・Ⅳ① <b>【ドイツ語】</b> ドイツ語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、ドイツ語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、ドイツ語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、ドイツ語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【中国語】</b> 中国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、中国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、中国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、中国語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【フランス語】</b> フランス語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、フランス語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、フランス語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、フランス語会話Ⅰ①・Ⅱ① <b>【韓国語】</b> 韓国語Ⅲ(読解)①・Ⅳ(読解)①、韓国語Ⅲ(表現)①・Ⅳ(表現)①、韓国語Ⅲ(総合)①・Ⅳ(総合)①、韓国語会話Ⅰ①・Ⅱ①			
健康総合科学科目	2単位		スポーツ科学Ⅰ①・Ⅱ①			
	④へ算入			スポーツ科学Ⅲ①・Ⅳ①		
海外事情科目	④へ算入		海外事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
自由選択科目	いずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。		キャリア・デザイン②			
			インターンシップ②			

# カリキュラム概要

## 2 専門教育科目

○内数字 = 単位数  
  = 必修科目

分野	卒業要件 (82単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
英語技能	36単位	Oral Communication I a①・I b①、Listening I a①・I b①、Writing I a①・I b①、Intensive Reading I a①・I b①、Extensive Reading I a①・I b①、TOEIC I a①・I b①			
		Oral Communication II a①・II b①、Listening II a①・II b①、Writing II a①・II b①、Intensive Reading II a①・II b①、Extensive Reading II a①・II b①、英文法a②・b②、TOEIC II a①・II b①			
	④へ算入	Oral Communication III a①・III b①、Writing III a①・III b①、Intensive Reading III a①・III b①、Extensive Reading III a①・III b①			
		TOEFL I a①・I b①			
			TOEFL II a①・II b①		
					Discussion & Debate a①・b①、Reading & Writing a①・b①
専門	2単位	異文化理解入門②			
	2単位		言語・文化と教育入門②、国際ビジネス入門②、通訳・翻訳入門②、観光入門②		
	2単位			北米事情②、イギリス事情②、オセアニア事情②、英語で学ぶ日本事情②	
	26単位	英語音声学a②・b②、英語学概論a②・b②、経済・金融基礎②、通訳・翻訳基礎②、観光地理②			
				英文学a②・b②、日英語比較論a②・b②、第2言語習得論②、児童英語教育論②、社会言語学②、Media English a②・b②、Business English a②・b②、貿易・実務英語a②・b②、国際関係論②、翻訳法a②・b②、通訳法 a②・b②、Interpreter Guide②、観光実務論a②・b②、観光ビジネス論a②・b②、English for Tourism ②、ホスピタリティ論②	
語学研修	4単位		Study Abroad④		
ゼミ・卒業研究・論文	14単位	基礎ゼミ②			
				専門ゼミ I a②・I b②	
				専門ゼミ II a②・II b②、卒業研究・論文④	

## 3 グレーゾーン

必要単位数 ④ 16 単位	a. 「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位 b. 教養教育科目の「スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ」「健康総合論」「海外事情」 c. 他学部・他学科科目(注) d. 単位互換科目(単位互換A～Z) e. 自由選択科目の「キャリア・デザイン」または「インターンシップ」のいずれか2単位
------------------	---

**卒業要件単位 合計 ①+②+③=128単位**

(注) 他学部・他学科で修得した単位のうち16単位までがグレーゾーンに算入される。

# 授業科目の概要

## 教養教育科目

### 文学部共通

#### 教養教育科目の理念と目標

教養教育では、「学生一人ひとりの人間性を尊重しつつ、豊かな教養と高い品位を兼ね備えた人間の育成を目指す」という理念のもとに、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な価値観と深い洞察力を育成する「リベラル・アーツの修得」を柱として、多彩な科目を開講しています。学生の皆さんが将来豊かな教養を兼ね備えた人材として社会に貢献できることを目指します。

#### 宗教学

「建学の精神」に基づいて、宗教、特に禅・仏教を学びます。そこには「人間の弱さや愚かさ、強さや素晴らしさ」についての豊かな洞察が含まれています。

授業は、共通のテキストを用いた講義が中心ですが、各担当教員は視聴覚教材を活用するなど、独自の工夫を凝らしています。また、年1、2回「坐禅の体験実習」も行います。

この科目を通して「生きること」「信じること」の意味について考えてみましょう。

○宗教学Ⅰ・Ⅱは必修科目ですので4単位を修得する必要があります(宗教文化学科は開講されません)。

#### 教養セミナー「学問の発見」

高校までの受動的な学習形態を能動的な形へ転換させ、大学での基本的な学習姿勢を教授するための科目です。本授業では、「学問の発見」という共通のテーマのもとに、担当教員が工夫を凝らした、様々な授業が用意されています。皆さんの興味・関心に合わせて授業が選択できるようになっており、レポートの書き方など、スタディスキルも扱いながら、少人数のセミナー形式で授業が行われます。また、本授業の担当者は、1、2年次のアドバイザーとなり、授業以外にも、履修指導、その他、学生生活全般において皆さんをサポートします。

#### 教養基幹科目

教養基幹科目は教養セミナー「学問の発見」と人文系・社会系・自然系・主題系<sup>注)</sup>の各科目からなっています。人文系・社会系・自然系科目では、専門教育に不可欠な広い視野と学問領域にとらわれない広範な教養、そして豊かな人間性の育成を目標としています。総合大学としてのメリットを最大限に生かし、幅広い学問領域をカバーする多彩な科目でカリキュラムを構成すると共に、教養セミナー「学問の発見」での教員との触れ合いを通して、新入生が大学に溶け込みやすいように工夫しています。主題系科目においては、学際的で広い領域の中からテーマを設定し、それぞれの主題について総合的な理解を深めるために複数の教員が担当する授業や、特定のテーマについてより深く掘り下げて学ぶ授業が行われます。

○人文系・社会系・自然系・主題系科目は各分野で4単位ずつ、さらに教養基幹科目全体の中から(教養セミナー含む)4単位、最低でも合計で20単位を修得する必要があります。

注) 2012年度以前入学生については、以下のとおりとします。

教養基幹科目主題系の各科目は、主題科目として開講します。ただし、「健康の科学」は健康総合科学科目の「健康総合論」として開講します。

# 授業科目の概要

## 教養教育科目

### 文学部共通

#### 外国語科目

##### ①第1外国語【英語】(グローバル英語学科は開講されません。)

英語は、アメリカ・イギリスなどの英語圏で話されているだけでなく、母語の異なる人たちの間の共通語としても用いられているなど、国際化が進展する今日の社会において、その重要性はますます高まりつつあります。

英語カリキュラムは、現代社会において必要な英語コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としており、コア(必修科目)とエレクトィブ(選択科目)からなっています。

##### コア(必修科目)

コアにおいては、読む・書く・聴く・話すという4技能の養成を図ります。これら4技能をバランスよく修得することは、すべての語学学習にとって必要不可欠です。

- 第1外国語(英語)は、希望したコースに基づいてクラス分けが行われます。

クラス分けの結果とコースは最初の授業までに発表します。

- 科目名のアルファベットは以下の内容を表しています。

- a - Listening ComprehensionとOral Communication
- b - Reading
- c - Writing

- 英語は必修科目であり、1年次では英語Ia・IIa・Ib・IIb 4単位、2年次では英語Ic・IIc 2単位、合計6単位を修得する必要があります。

- 各開講年次で修得できなかった者は、時間割表に(未修得者)と表示されている科目の中から履修してください。

##### ②第2外国語【ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語】

第2外国語は、ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語が開講されています。国際化が叫ばれる中で、多様な世界を知り、それを理解するためには、英語以外の外国語を学習することも大切です。異文化への理解を深め、国際人として通用する教養を養うために、積極的に第2外国語の学習に取り組んでください。選択必修科目ですので、1年次にドイツ語・中国語・フランス語・韓国語の中から1言語を選択して履修することになります。また、2年次以上ではエレクトィブ(選択科目)を履修することができます。

なお、第2外国語は未修外国語ですので、コアの授業では基礎的な部分の学習に止まらざるを得ません。

当該言語の能力をより高めるために、2年次以降にエレクトィブ(選択科目)を履修することが大いに望まれます。

- 第2外国語はコア(必修科目)の2単位を修得する必要があります。

- 第2外国語のクラスは希望した言語に基づいて編成します。クラス編成上、第1希望にそえない場合があります。DA～

DDクラスはドイツ語、CA～CHクラスは中国語、FA～FDクラスはフランス語、KA～KDクラスは韓国語となっています。

※なお、決定された第2外国語は、変更することができません。

##### ③文化事情【ドイツ文化事情・中国文化事情・フランス文化事情・韓国文化事情】

第2外国語として学習する、ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語、これらの言語の背景にある文化や風俗、人々の生活などについて学ぶ科目です。選択必修科目ですので、ドイツ文化事情・中国文化事情・フランス文化事情・韓国文化事情の中から1科目を選択して履修してください。半期科目のため、春学期或いは秋学期のいずれかで受講することになります。

なお、できる限り第2外国語で選択した言語の文化事情を履修するようにしてください(例：ドイツ語を選択した場合はドイツ文化事情を履修)。

- 学籍番号が奇数の人は春学期に、偶数の人は秋学期に履修してください。

##### ④エレクトィブ(選択科目)

エレクトィブはコアを学習しながら、あるいはコアを学習した後、さらに各技能のレベルを高めるための科目となっており、豊富な教員を用意し、少人数クラスで多種多様な授業を行います。パソコンや視聴覚機器などを使用した科目も開講しています。

# 授業科目の概要

## 教養教育科目

### 文学部共通

#### 健康総合科学科目

健康総合科学では各種スポーツの「実践」と「理論」により、健康の価値と運動の楽しさを体験的に認識することによって健康の自己管理能力を養い、それぞれ各人の能力にあった運動を生涯スポーツとして確立し、広く社会に貢献しうる人材の育成を目的としています。スポーツ科学では「実践」により皆さんができるだけスポーツに親しむことを望んでおり、健康総合論では「理論」によって健康に関する諸問題を医学面、あるいは運動面から総合的にアプローチしていきます。

○スポーツ科学Ⅰ・Ⅱは必修科目ですので、2単位を修得しなければいけません。

○第1週目は授業内容などのガイダンスを行いますので、所定の教室に集合してください。

既往症、現在症などで運動制限をしなければいけない場合	第1週目の授業時に担当教員に必ず申し出る
見学を余儀なくされた場合	担当教員に申し出る (長期に渡る場合は、診断書を提出)
試合などで休む場合	前もって担当教員に申し出る
天候不順の場合	授業変更は体育館事務室前に掲示

○更衣は体育館更衣室で行い、衣服などの荷物を各競技場に持っていき、各自で管理してください。そのため、貴重品はできるだけ持ってこないようにしてください。

#### 海外事情科目

海外の国に実際に足を踏み入れ、今まで学習してきた外国語を実際に使ってみることによって、新たな経験を積み、視野を広げることになります。

海外事情科目は、本学が行う「海外語学研修」をその内容としています(詳細については、P.53参照)。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### 宗教文化学科

#### (1)専門教育科目を学ぶにあたり

専門教育科目の学習は、近代社会における「専門」とはどういうものか、その雰囲気や体得することに大きな意義があります。みなさんは、就職後一般社会における仕事でいろいろな「専門家」と付き合いねばなりません。そのためには大学生活の間に「専門家は何を知っているのか」を判断できるようになっておく必要があります。また、宗教文化学科の場合は、専門教育科目の学習はみなさんの人間形成にも役立ちますので、広く深く勉強してください。卒業には合計で76単位以上を修得する必要があります。

#### (2)専門基礎科目

宗教文化学科では、基本的に1年次に宗教学入門・仏教学入門・禅学入門のうち2科目合計8単位を修得することが必要です。2年次開講の、宗教文化史・仏教の歴史、3年次開講の禅宗史から4単位を習得しなければなりません。このほかの科目(地域宗教文化)を含めて、専門基礎科目は、教養教育科目から宗教文化学科の専門一般科目へと学習内容を移行させる、橋渡しとなる入門的な科目です。

#### (3)専門基礎語学

専門基礎語学は、基本的に2年次に宗教学英書入門・仏教漢学入門・パーリ語入門・サンスクリット語入門から4単位を修得しなければなりません。

#### (4)専門一般科目

専門一般科目は、大きく宗教文化コース・仏教文化コース・禅文化コースの3種類に分類できますが、この分類は、みなさんの科目選択を制約するものではありません。みなさんの興味関心に合わせて、コースに関係なく、アラカルトに履修科目を選択することができます。合計52単位(2013年度以前入学生は48単位)以上を修得する必要があります。

#### (5)総合セミナー

総合セミナーは、卒業論文(4単位)、2013年度以前入学生は(8単位)を作成することを主たる目的として、4年次に開講される必修の少人数科目です。3年次の段階で、宗教文化セミナー・仏教文化セミナー・禅文化セミナーのいずれかを選択します。4年次の総合セミナー(4単位)はその持ち上がりとなります。みなさんの興味関心の方向性を1・2年次に見当をつけておき、3年次に進級する段階でセミナーを選択することになります。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### 歴史学科

#### (1)専門教育科目を学ぶにあたり

歴史学科のモットーは「過去との対話から未来をひらく」です。無尽蔵の宝庫の扉をあけて積極的に「過去」に問いかけてください。

専門教育科目には、専門基礎科目・専門一般科目・選択科目の3分野があります。1年次には、5つの概説を通して歴史学の基礎を学びます。そして日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の5コースについて、どのコースを専門として選択するかを年度末に決定します。その結果にしたがい2年次より各自の選択コースにそって履修計画を立てることになります。2年次から専門一般科目については各自、選択コースに分かれて学んでいき、専門的な見方や知識を深めていくこととなります。

#### (2)専門基礎科目

歴史学科では1年次に5概説を学んだ後、2年次に史学概論Ⅰ・Ⅱ(各2単位、計4単位)と考古学概論2単位の計6単位を履修すること、3年次には東西交渉史Ⅰ・Ⅱ(各2単位)と国際関係史Ⅰ・Ⅱ(各2単位)の中から4単位を履修することを必修としています。史学概論は歴史の目的や意義、歴史を研究する方法などを様々な角度から学び、考古学概論は生の資料を歴史資料化する方法論を学ぶ、文字どおり歴史学の基礎科目です。また、国際関係史と東西交渉史は、歴史学科の理念である世界史的視野をもって諸事象を考察することに役立つ重要な科目です。

#### (3)専門一般科目

2年次からは、各自の選択したコースにしたがって基礎講読(A・B別)に分かれて履修することとなります。日本史・東洋史・西洋史の各コースを選択した皆さんは古代・中世史を専攻するならばAを、近世・近現代史を専攻するならばBを選ぶこととなります。イスラム圏史コースにはA・Bの区別はありません。考古学コースでは旧石器・縄文・弥生の各時代を専攻する人はAを、古墳・古代・中世・近世を専攻する人はBを選ぶこととなります。なお、考古学コースを専攻した人は、2・3年次に考古学実習として発掘調査を実施します。

基礎講読A・Bでは史料の読み方、解釈の方法、辞典の使い方など研究の初歩を学びます。また、各種の特殊講義A・Bなどの授業を受けて自身が専攻する研究領域の理解を深めていきます。3年次には専門講読でより専門的な史料を解説します。また、3年次からは新しく基礎演習(ゼミ)が始まります。講読科目と同様の少人数クラスで学生自身が調べ発表する形式で行われます。また発展的な講義である特殊研究A・B・Cがはじまります。4年次には専門演習A・Bで研究を深め、卒業論文の作成もすすめます。

#### (4)選択科目

選択科目の選び方としては、各自の専攻コースの選択にしたがい日本史ならば日本民俗学、東洋史ならば中国文化史入門や朝鮮史、西洋史ならば西欧文明史や欧米諸国史、考古学ならば文化人類学や地域考古学などの関連授業を取るのも良いでしょう。たとえば卒業論文で思想史・美術史・アジア諸国史などを研究したい人は、それぞれ関連科目が開講されているので選択すると良いでしょう。なお、日本史コースでは古文書Ⅰ・Ⅱが必修、考古学コースでは考古学基礎実習と考古学専門実習がそれぞれ選択必修ですので、両コースの専攻者は必ず履修してください。

選択科目は自分が興味あるものを多く取ることを奨めます。4年次までの履修単位数については「カリキュラム概要」を参照してください。専門教育科目を学ぶにあたって各コースを専攻する時、以上の諸点に留意してコース選択をすると良いでしょう。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### 英語英米文化学科

#### (1) 専門教育科目を学ぶにあたって

英語英米文化学科では、高い英語力を身につけること、および英米を中心とする英語圏社会の文化について理解を深めることを目標としています。そこで本学科の専門教育科目には、英語力と文化に関連する多様な科目が用意されています。本学科の学生には、「アメリカ文化」「イギリス文化」「英語圏文化」「英語研究」の4領域のいずれかを1、2年の間に各自で選んでもらい、3、4年の卒業研究に結びつけることを推奨しています。これらの4領域を効率よく学ぶために、どのような授業の選択、履修方法が望ましいのか、入学式後のオリエンテーションや各学年末に行われるガイダンスで説明しますので、必ず出席してください。

以下、本学科の専門教育科目における、専門基礎科目、専門基礎関連科目、専門専攻科目、専門演習科目の4つのカテゴリについて、それぞれ説明をします。

#### (2) 専門教育科目(必修26単位)：本学科で学ぶための多様なスキルを身につける入門ゼミ+英語英米文化学科の学びの根幹である英語力の基礎拡充・応用力強化の科目+英語で文化を学ぶアクティブラーニング科目

イングリッシュ&カルチャー I ab、II ab、III ab、オーラルコミュニケーション I ab、II ab、Culture through English I ab、II ab、III abは、A・B・C・DEの4レベル、5クラス編成で授業が行われます。所属クラスは、1年生配当の科目については、入学式以降のオリエンテーション期間に実施されるプレースメントテストの結果によって、また2年生以上の科目については、各学年の秋学期後半に実施されるプレースメントテスト/習熟度テストの結果によって決定されます(※1)。また、本学科の学生は毎学期TOEICを受験し、高スコア獲得を目指すことが求められます。

英語英米文化入門ゼミは、英語科目とは異なる4クラス編成の少人数クラスです。専門的な文化理解の入門となる知識を身につけながら、大学生としてのアカデミックスキルの向上をめざします。文献の調べ方、レポートの書き方、ノートの取り方などもここで学びなおし、さらに英語力の向上のためのスキルを磨きます。また、Culture through Englishは外国人教員の指導を受けつつ、英語によるプレゼンテーション力を養います。

#### (3) 専門基礎関連科目：英語力のさらなる向上をめざす英語関連科目(4単位以上)+異文化理解のための知識向上の科目と現地へ赴くスタディーツアー科目(6単位以上)+英米文学や英語研究関連の科目(4単位以上)

実用英語やTOEICなど、英語力をさらに伸ばし、社会に出てからも活かせる力をつける科目がこのカテゴリに含まれます。また、比較文化論やフィールドワーク論などの科目群で異文化理解へのアプローチを学び、English / Culture Tour I～IVでは、夏休みには日本での英語イマージョン合宿や、春休みにはアメリカ、イギリス、英語圏へのスタディーツアーがあります。海外へのスタディーツアーでは各地の文化を現地で体験し、現地の人々と交流し、日本を外国から眺めて、日本についても学びます。また、英米文学と英語研究の科目群には、英語教員を目指す学生に必要な科目が含まれています。

#### (4) 専門専攻科目：アメリカ、イギリス、英語圏の地域文化を学ぶ地域文化研究(12単位以上)+学科教員の専門分野を学べる特講(12単位以上)

地域文化研究は2年次から、特講は3年次からそれぞれ履修が可能です。英語や英米の文化を深く学ぶための多彩な科目が用意されています。2年次で4領域について広く学び、3年次で各自の関心領域について、より専門的な内容を扱う特講を受講することができます。

#### (5) 専門演習科目(必修12単位)：学生が主役の科目である演習(4単位+4単位)+卒業研究の科目(4単位)。特に卒業論文は大学での学び・研究の集大成

英米文化演習(3年)は、少人数(通常15名以下)の演習科目です。自分が卒業論文の研究テーマとして取り組むトピックをそれぞれ選び、ゼミで仲間との議論やプレゼンテーションを通して、お互いに切磋琢磨しつつ各自の課題に取り組みます。なお、ゼミの担当教員はすべて本学科の専任の教員です。所属ゼミは、2年次の秋学期初めに行われるオリエンテーション後に決定されます。オリエンテーションを欠席するとゼミの選択権がなくなりますので要注意。

総合演習(4年)は、原則的に3年次の担当の教員のゼミに引き続き所属して、卒業論文の完成を目指します。論文の内容についてプレゼンテーションなどをしながら、計画的に執筆を進めることが求められます。

卒業論文(4年)は、3、4年の各自の研究の集大成です。論文の執筆は、ゼミ担当の教員の指導を受けながら進めることとなります。

※1 イングリッシュ&カルチャー I ab、II ab、III ab、オーラルコミュニケーション I ab、II ab、Culture through English I ab、II ab、III abについては、次の学期からのB・C・DEクラスから上位クラスへの変更が可能です。詳細は掲示するのでその指示に従うこと。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### 国際文化学科

#### (1) 専門教育科目を学ぶにあたり

本学のカリキュラムには、教養教育科目と専門教育科目の2つの領域があります。年度初めに配付される時間割で、赤字で書かれているものが専門教育科目です。国際文化学科の専門教育科目には、次の4つのカテゴリーがあります。専門基礎科目、専門基礎関連科目、専門専攻科目、専門演習科目です。また、専門演習科目には卒業論文が含まれており、文学部の他の学科と同じく、国際文化学科でも必修となっています。

国際文化学科のカリキュラムの特徴は、その多様性にあります。しかし、この多様性のために学生諸君の学習の核があいまいになる危険もあります。したがって、国際文化学科でも、英米文化、アジア・オセアニア文化、比較文化という3つの領域を念頭に、各自の履修計画をたて、学生諸君がそれぞれの専攻を明確にすることを推奨しています。

#### (2) 専門基礎科目(選択必修12単位を含めて20単位)：国際文化学科で学ぶ上での基礎固めをし、個人の専攻を決めるための指針を得る科目。

- ・必修科目：英語科目(オーラルコミュニケーションⅠa b、Ⅱa b、イングリッシュ&カルチャーⅠa b、Ⅱa b)。これらの科目はA・B・C・DEの4レベル、5クラス編成で授業が行われます。所属クラスは、1年生配当の科目については、入学式の翌日に実施されるプレースメントテストの結果によって、また、2年生の科目については、1年生の秋学期後半に実施される英語プレースメントテストおよび習熟度テストの結果によって決定されます(※1)。
- ・選択必修科目：「国際文化入門」a b、「アジア・オセアニア文化入門」a b、「英米文化入門」a b、これら3科目は1年生から履修可能です。また、この3科目はそれぞれ2クラスずつ開講され、クラス指定がありますので注意してください(春、秋で異なる教員の講義を受ける形になります)。「英語学概論」a b(1クラス開講。クラス指定なし)は、2年生から履修可能で、教職希望者は必ず履修しておきたい科目です。

#### (3) 専門基礎関連科目(12単位)：専門基礎科目を補完する科目。

TOEICⅡa b、オーラルコミュニケーションⅢa b、ライティングⅢa b(3年生から履修可能)を除き、すべて2年生から履修可能です。

#### (4) 専門専攻科目(地域文化研究：8単位、特講：16単位)：自分の専攻についての知識を深める科目。

地域文化研究は2年生から、特講は3年生から履修可能です。履修については、さまざまな地域について、広く知識を得る形態と、自分が選択した各自の専攻地域について集中して科目を選択する、2つの履修形態があります。時間割やアルバイトの都合ではなく、自己の知的関心に基づいて履修科目を選択してください。

#### (5) 専門演習科目(選択必修4単位を含め20単位)：学生が主役の科目。特に、卒業論文は大学での学習・研究の総仕上げ。

- ・英書講読(3年生)：1、2年の専門基礎科目の英語と同じく、4レベル、5クラス編成で授業が行われます。所属クラスは、2年生の秋学期後半に実施される英語プレースメントテストおよび習熟度テストの成績によって決定されます(※2)。インターネット上で公開されている重要な情報の多くは英語で書かれています。コンピュータが重要な役割を果たしている現在、英語の読解の能力は、会話の能力にもまして重要なものとなっていることを認識しておきましょう。
- ・英米文化演習・国際文化演習(3年)：通称プレゼミ。少人数(通常15名以下)のクラスで、自分の選択した研究テーマの取り組み方、発表の方法などを学びます。所属ゼミは、2年の秋学期に行われる合同オリエンテーション後(欠席者はゼミの選択権を失うので注意!)、ゼミごとに希望をとって決定されます。
- ・総合演習(4年)：英米文化演習・国際文化演習が、このように4年次に名称変更されます(特別な事情がない限り、ゼミの所属は変わりません)。自分の研究をさらに深めるための科目です。
- ・卒業論文(4年)：3、4年の演習で各自が追求してきたものを、それぞれの演習担当の教員(すべて国際文化学科の専任)の指導を受けつつまとめます。締め切りは12月半ばです。

※1 } オーラルコミュニケーションⅠ、Ⅱ、イングリッシュ&カルチャーⅠ、Ⅱ、英書講読については秋学期からのB・C・D・E

※2 } クラスから上位クラスへの変更が可能です。詳細は掲示するのでその指示に従うこと。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### 日本文化学科

#### (1) 専門教育科目を学ぶにあたり

日本文化学科のカリキュラムは、A「言語」、B「文学」、C「思想と芸術」、D「社会と民俗」の4つの領域から成っています。

A「言語」の領域では、日本文化形成の基本となる日本語について、その構造的特質や言語表現上の問題を検討します。「外国語としての日本語」の観点から、自国語を見なおす力を育てます。地域文化と密接な結びつきを持つ方言研究にも、重点を置きます。

B「文学」の領域では、世界の文化の中で日本文化がどのような価値・意味を有するかを明らかにするため、日本の伝統文化を形作った古典文学の研究とともに、近現代の文学作品なども合わせて学びます。外国の文学との比較研究も行います。

C「思想と芸術」の領域では、日本文化を東アジア文化圏の中に位置づけて考察し、日本文化の形成に大きな影響を与えた仏教や儒教思想についての理解を深めます。また、東アジアの芸術は書道を抜きにしては語り得ませんので、実技を中心とする書道文化教育科目を充実させています。

D「社会と民俗」の領域では、日本社会の基層を知ることを目指します。西洋のヨコ社会に対して、タテ社会といわれる日本の社会構造について学びます。民俗学的視点も応用して、さまざまな角度から日本の社会の問題点を検討します。

これら4領域のそれぞれについて、教室での講義以外に、方言や民俗・社会調査、史跡や社寺の見学、書道実技や古典芸能鑑賞など、学外へ出て行う調査や実習があります。学生諸君が、日本文化を体験できるさまざまな現場へ出かけ、日本文化を実感、体得することを目標としています。そのためのキーワードが、「文化探求現場主義」です。日本文化学科では、「文化探求現場主義」にもとづいて、私たちを取り巻くさまざまな問題を、「発見」「追究」「解決」する力を養成して行きます。

#### (2) 1群

日本文化学科の多様な授業科目を横に分類すれば、A「言語」、B「文学」、C「思想と芸術」、D「社会と民俗」の4領域となりますが、これを縦に分類すれば、1群・2群・3群という3つの段階から成り立っています。1群は入門的・概論的講義、2群は専門分野へ一歩踏み込んだ講義、3群はより専門性を深めた少人数のゼミナール形式の授業です。

1群の講義科目としては、「日本語学」「日本文学の歴史」「仏教と文化」「現代社会学」などがあります。1年生から受講できる科目の講義を聞いて、まず各領域の基礎を身につけてください(これらの科目は、2年生以上になってから受講することも可能です)。

#### (3) 2群

2群では、一般教養分野から専門分野への橋渡しとなる特殊講義が開講されています。特色ある授業科目群として「日本文化特講1」～「日本文化特講10」があります。学生諸君が必要とする情報や、関心を持つ分野は、時代の流れとともに変化していきます。それに即応したさまざまなテーマをあつかうための講義群です。この中の「日本文化特講1」(日本文化表現法)は、少人数の6クラスに分かれ、日本語の表記・文章の書き方・伝達や記述力・思考力の育成などを学びます。「日本文化特講5」(日本文化研究法)は、学科の全教員で担当し、日本文化の全領域について、それぞれの専門分野からの講義をします。3年生以降のゼミ選択の指針となる科目です。「書道文化1」～「書道文化5」も2群の開講科目です。楷書に始まり、行書・草書・隸書・かななど、幅広く学べる実習科目です。

#### (4) 3群

日本文化学科の3年生・4年生は全員が、10名の専任教員による10のゼミの中から1つを選択し、所属します。1ゼミの学生数は10～15人程度で、3年次には「演習」「講読」、4年次には「総合演習」を受講します。

2年生の秋学期にゼミオリエンテーションがあり、各教員によるゼミ内容の説明をもとに、学生諸君は希望のゼミを決めます。その際、希望者の人数を調整する場合があります。人数調整に際しては、1年生・2年生の時の授業履修状況が参考にされる場合がありますので、授業に休むことなく出席し、しっかり勉強しておきましょう。

# 授業科目の概要

## 専門教育科目

### グローバル英語学科

#### (1) 専門教育科目を学ぶにあたり

「使える英語」をめざして「聴く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能をバランスよく磨き、徹底的なスキル訓練を行うと同時に、文化的・社会的価値観、世界観、人間観などにも目を向け、「国際的な感性を身につけ、英語を使って仕事ができるプロフェッショナル」の育成を指向するための授業科目です。そのために、実践的コミュニケーションに必要な英語の4技能を修得させる科目、英語を使って活躍できる職業分野に必要な知識・技能を身につけさせる科目、および国際的視野を身につけ、クリティカルな分析力をもって情報発信することを学ばせる科目などがあります。

#### (2) 英語技能

英語4技能習得のベースとなる科目群として①オーラルコミュニケーション(スピーキングを中心とした英語)、②リスニング、③リーディング(インテンシブとエクステンシブ)、④ライティング、⑤英文法、⑥TOEICが設定されています。これらの科目群は学生全員が履修する必修科目群です。特に①～④の科目群は1年次から4年次まで継続的に履修します。またオーラルコミュニケーションは全て英語で行います。これらの学習によって、高度なコミュニケーション英語能力や英語読解・表現の総合英語力を身につけます。また海外留学に必要な受験に役立つ科目TOEFLも設定されています。

#### (3) 専門分野

英語を使って活躍できる職業分野に必要な知識・技能を身につけるいわゆるESP科目が中心ですが、ESP科目だけでなく、国際的視野を身につけ、クリティカルな分析力をもって情報発信することを学ぶ科目も設定されています。これらの科目群を下記の4つのモデルに分けます。

- ①国際ビジネスモデル
- ②観光・航空モデル
- ③通訳・翻訳モデル
- ④英語教員モデル

卒業後の進路は、積み上げていく単位がほぼこれらのモデルに沿う形になりますが、観光・航空モデルと英語教員モデルというように、複数のモデルにまたがって履修することも可能です。

#### (4) 語学研修

「Study Abroad」では、2年次の夏期休暇中に約3週間、ホームステイをしながら西オーストラリア大学付属の英語センターで英語学習の集中訓練を受けます。これによりコミュニケーション英語力を身につけるだけでなく、実際の現地の文化に触れながら生の英語コミュニケーションを体験することができます。また、愛知学院大学が現在提携を結んでいる、イリノイ大学(アメリカ)、ヴィクトリア大学(カナダ)、ボンド大学(オーストラリア)、エディンバラ大学(イギリス)での語学研修に参加することで2011年度以前入学生には、海外語学研修Ⅱの単位認定を行います。2011年度以降入学生は、教養教育科目の海外事情科目の単位認定となります。

#### (5) 基礎ゼミ

言葉の背景にある文化的知識を身につけるだけでなく、英語の一般的な内容や講義で習ったことなどを中心としてグループでディスカッションを行い、プレゼンテーションの練習を行います。専門的な内容についても学習する機会を提供し、3年次以降の専門ゼミで学生自身が研究発表できるようにするための基本的な能力を養います。

#### (6) 卒業研究・卒業論文

各自が関心を持つ領域を専門とする教員のゼミに所属し、グローバル英語学科のカリキュラムの内容にふさわしいテーマを設定し、そのテーマについて研究することを目的とします。これはまた、論理的な思考・文章作成、プレゼンテーション、討論など、将来職業に就いても必要となる知識、能力の修得の場でもあります。内容はゼミの先生方の専門領域について専門的知識を学ぶと同時に各自、ゼミで作成する卒業研究・論文のテーマを絞り込んで、資料収集・資料の読解を行い、順番で報告、討論を行います。基礎ゼミ以降学習したノウハウを駆使し、特定のテーマについてしっかりと知識を蓄積し、論理展開し、表現する力を発揮することが求められるだけでなく、自分のテーマについて、自らの考えを展開できるようにすることが求められます。